

# らせんの家

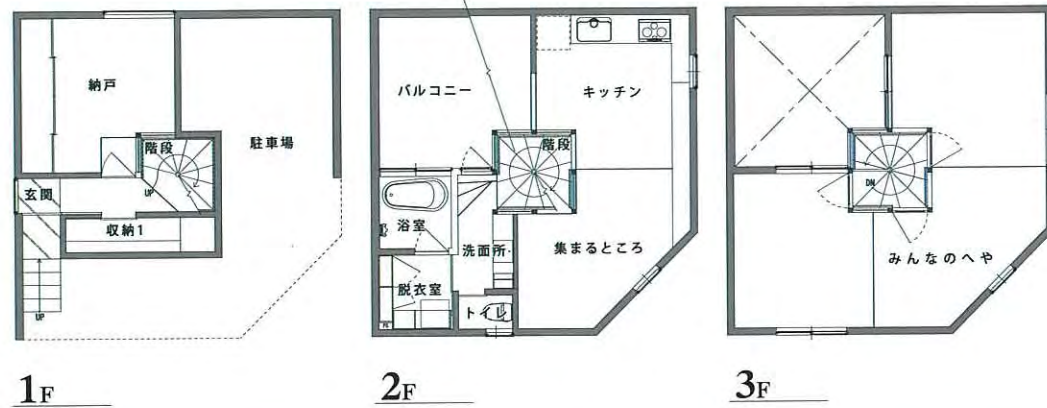
設計者/有限会社HIRO建築工房  
施工者/有限会社阿部建築

## 設計趣旨 CONCEPT

前橋商店町で育った御施主様ご夫妻。子供の頃の、楽しい思い出を継承し、子供たちにも味わってほしい。そんな思いから、前橋商店街周辺での土地探しが始まった。土地の価格も高めの地域である事から、23坪の敷地が選ばれた。ここに、家族5人のための家、なおかつ駐車スペース2台の家が望まれた。敷地面積からして厳しい条件ではあるが、設計とは条件が厳しい程、やりがいとなる。しかしさらに、希望としてワンルームのような家が追加された。結果、敷地を4分割し、中央に螺旋階段を設けた。そのフロアを8層に分け、螺旋階段にあわせ上に重ねた。各フロアは645mmの段差となり、最下階から最上階までワンルームとしてつながった。各フロアからは、上下階が床の隙間から、覗かれる。一見、導線や階段から、距離感のある家になりそうだが、常につながりのある多様なワンルーム空間となった。



## 平面図



# 家具作家の小住宅

設計者/有限会社相崎工務店 一級建築士事務所  
施工者/有限会社相崎工務店

## 設計趣旨 CONCEPT

施主は甘楽町在住で家具作家を生業としています。里山の雰囲気を残るところに娘と2人で住む小住宅を建てたいという相談が数年ありました。前年度計画したところは里山の雰囲気もあり良い敷地でしたが土地取得ができず今回の三角敷地で再計画を行いました。■配置平面計画 南側道路は散歩や農作業の車等が比較的多く室内のプライバシーを確保するため建物の一部をコンクリートの塀にしています。車や通行人の会話等の遮音も期待しました。ぎりぎりの敷地なので平面計画は素直に敷地に呼応する計画するよう心がけました。手前から車庫、リビング、ダイニングと続き廊下状にしないで寝室まで続きます。変形はしていますが、各室ともそれなりに広さがとれるように考慮しました。完全な平屋では子供室が確保できず車庫の上に2階をもうけています。最終的に建べい率ぎりぎりの計画となりました。

■断面立面計画 建物の遠景も山並みに合わせたかったので平屋ベースで西側一部2階としました。西側の道路斜線をぎりぎりに計画し、そこから建物の高さを決めてきています。ダイレクトゲインを期待し全体を南上がりの屋根にしています。北の低い部分は2.1m程度ですが南上がりに勾配天井となり、さらに平面が変形しているので遠近感が強くできる事を期待しました。■構造計画 車庫柱の位置からみるとかなり跳ね出して見えるようにベランダは袖壁状にしています。今回は木造ですが、告示に準ずるだけでなく構造計算をして構成しています。一般の仕口だとなりたませないので、金物工法を採用しています。■デザイン計画 普段から審美眼をもって仕事している施主なので、シンプルで美しい空間ディテールを心がけました。



## 平面図

